

公益財団法人 8020 推進財団  
令和元年度 歯科保健活動助成交付事業報告書抄録

1. 事業名：口腔機能発達不全症対策ならびに口腔ケアを目的とした Web 活用による啓発活動

2. 申請者名：一般社団法人横浜市歯科医師会 会長 杉山紀子

3. 実施組織：一般社団法人横浜市歯科医師会

4. 事業の概要： ホームページを作成し、妊娠期の妊婦ならびにその家族、乳幼児から未就学児を対象とした口腔機能の発達と歯と口腔に関する情報を発信。また、歯ブラシ動画を発信し正しい歯ブラシで予防を推奨していく。

5. 事業の内容： ホームページの作成  
カテゴリーを「妊婦」「乳幼児」「未就学児」に分けそれぞれが口腔に関心を持ち、特に関心の高い「う蝕」よりアプローチし口腔機能に関心を持つように制作した。歯が萌出する前から乳幼児の口腔内に保護者が関心を持ちアイフォンやスマホなどで気軽に情報を得られるように発信する。  
また、歯ブラシ動画を作成し情報を視覚化した。  
乳幼児健診などで多く質問される「無歯顎～萌出時期のケア」  
「1歳半からの仕上げ磨き」「2歳半からの仕上げ磨き」「フロスの使い方」を youtube にて発信。  
保護者に正しい歯ブラシの知識を身につけてもらうことで、う蝕罹患率低下を試みると共に口腔内を観察する習慣を付け「口腔機能発達不全症」対策の入口とした。

6. 実施後の評価（今後の課題）  
現時点ではホームページ制作にとどまっており口腔機能発達に関する知識、発達不全に対するリハビリテーションなどについても継続して制作し情報発信していく予定であるが、情報を具体化することで横浜市民が何の情報が必要とし横浜市歯科医師会がそれをどう発信していくかを考えることができた。  
今後は、横浜市こども青少年局との協定「妊娠期からの母子歯科口腔保健の推進に関する連携協定」により母子手帳配布時にこのホームページの案内を出すことで、出産前から「むし歯予防」と「口腔機能発達不全症対策」に関する啓発を推進していく。また、乳幼児健診の1歳半健診や3歳児健診でも周知することで、未就学児に対する啓発を推進する。  
さらに Web のアクセスデータを分析しその効果を検証、検討していく。